

令和5年度自治体SDGsモデル事業

山梨県

誰もが豊かさを実感できる「豊かさ共創基盤」構築プロジェクト

取組内容の概要：企業の人材育成に対する支援や地域資源・既存産業を効果的に活用することで企業の安定した成長につなげ、これらで得られる収益が、強靱な社会基盤の整備に投資される。強靱な社会基盤や最先端技術が絶えず生み出される環境を求め、山梨を選ぶ人や企業が増え、雇用拡大・所得向上、更には「集合知」の形成につなげる。

経済

課題…経済の活性化に向けた
新たな企業価値の創造

●メディカル・デバイス・コリドー2.0の推進

研究開発支援 高度化・裾野拡大・海外展開
医療機器関連産業人材の育成

●水素・燃料電池関連産業の基幹産業化の推進

参入企業支援窓口設置 マッチング支援
出前講座 産学官など共同研究

●スタートアップの県内集積と オープンイノベーションの推進

支援拠点の整備 実証実験サポート事業
「テストベッドの聖地やまなし」プロモーション

経済面の相乗効果

- ・「豊かさ共創基盤」を求めた転入者が増加
- ・県歳入増により強靱な社会基盤整備が促進

社会面の相乗効果

- ・従業員スキルアップによるビジネスチャンスが増大
- ・優れた知識・技術を持つ人々の地元企業での技能発揮

社会

課題…一人ひとりの可能性を
引き出す学びの場の提供

●少人数教育の推進

少人数学級の対象学年を順次拡大
アクティブクラスへの教員加配 モデル学級の創出

●子どもの貧困対策の推進

生鮮食料品の貧困家庭への提供
中高生の居場所づくり 学習機会の提供

●誰でも・いつでも・どこでも学べる環境づくり

スキルアップ・学習機会の創出

●豊かさ共創の好循環構築事業 「キャリアアップ・ユニバーシティ」 << 能力開発のプラットフォーム >>

- ・講座・研修を通じてスキルアップ・キャリアアップ
- ・スキルアップ・収益アップ・賃金アップのスリーアップを推進

経済面の相乗効果

地域課題・脱炭素事業に取り組む企業・団体等
の拡大・事業実施による「上質な空間」の創出

社会面の相乗効果

SDGs・脱炭素学習による理解向上により、省
エネ活動等が活発となり、「上質な空間」が創出

環境面の相乗効果

山梨ならではの脱炭素社会実現に向けた取り
組みにより、先進的な技術を持つ企業が増加

環境面の相乗効果

・住みやすい環境を求めて移住者が増加
・県歳入増により強靱な社会基盤整備が促進

●水素エネルギー社会実現に向けた実証研究の推進

やまなしP2Gモデルの更なる技術開発
県内外・国外への技術展開

●4パーミル・イニシアチブの推進

実証現場での更なる技術開発 認証制度の運用
全国協議会研修会

環境

課題…地球環境を保全する脱炭素社会の実現

✓ モデル事業により構築される
「豊かさ共創基盤」を求め、
国内外から山梨に
「ヒト・モノ・コト」が集まる！

✓ 地域課題解決につながるイノベ
ーションは、国内外の同様課題の参
考に！
✓ 「豊かさ共創基盤」により大きく前
進する脱炭素技術は国内外の脱
炭素化に貢献！